

お馬さん怖くないよ

刈谷市の愛知教育大馬術部が飼育する馬との触れ合いを楽しんでもらう催しが九日、同大構内の馬場や厩舎周辺であり、小学生までの子ども二十一人と保護者が参加した。

(神谷慶)



馬術部員に見守られながらニンジン
馬にあげる子ども＝刈谷市の愛教大で

刈谷・愛教大 馬術部が触れ合いイベント

部では現在、部員九人がサラブレッドを中心とする六、二十歳歳の四頭を世話している。この日は、馬の口元に取り付けたロープを部員が引きながら、参加者が乗馬を体験。餌やりでニンジンをあげた。同市富士松北小学校四年の諸永大翔君(〇)は「手に吸いつくようにニンジンを食べられて、かわいかった。乗馬も慣れてくると楽しかった」と笑顔を見せた。

部が二〇二〇年から不定期で続けてきた催し「ふれあい体験会」の一環。安全性を保ちながら定期開催しようとして、今年二、三月に初めてインターネットを通じて資金を調達するクラウドファンディング(CF)を実施、目標額(百万円)を超える寄付が集まった。

部の鈴木拓海主将(三)は「三年は「初めは『怖い』と言っていた子が笑顔になっていく瞬間が見られ、きつと馬を身近に感じてもらえたと思う。本年度は二カ月一回程度、開いていきたい」と話した。